

「重信川かすみの森公園のかわまちづくり活動と スラックラインチャレンジ2023」事業報告書

一般社団法人 日本スラックライン連盟 愛媛支部

令和5年11月26日(日)、東温市かすみの森スラックラインパークにて、「第3回東温市長杯かすみの森スラックラインパークスラックラインチャレンジ2023」を開催しました。

かすみの森スラックラインパークは、国土交通省「かわまちづくり」支援制度への登録を受け、重信川河川敷に日本で初めて整備されたスラックライン専用パークです。スラックラインのスポーツとしての将来性や健康への効果の高さとは裏腹に、スラックラインを行える場所が少ないことを苦慮していた弊社団体「日本スラックライン連盟愛媛支部」の思いに、河川空間を活用した賑わい創出を目指す東温市が賛同していただき、連携することで2019年3月に日本初のパークとして完成しました。

パーク完成から5年、この場所を利用したスラックラインの体験会を毎月第1日曜に定期的に行い体験者数は延べ2,000人を越えると共に、各種イベントを通じたスラックライン及びパークの普及を行っています。この大会は、体験会やパークでの練習を通して上達してきた愛好家たちが自分たちの実力を発揮できる機会とも言えるものとなりました。

当日に向け、県内はもちろん県外からの出場者も増えてくるにつれ、大きな賑わいと大会の接戦も予想されてきました。

当日は、天気にも恵まれ、出場者は31名、家族も



入れると100名以上の方でスラックラインパークが賑わいました。

大会には、長崎県からプロスラックラインライダーの松本礼さんを招聘し、世界クラスのパフォーマンスを披露していただきました。貴重な機会とあって、サインをもらったり、写真を一緒に撮ってもらったり、特別レッスンを行うなど、愛好家たちの沸く様子も見られました。

開催に当たっては、多くの企業さま、東温市、国土交通省松山河川国道事務所にも協力をいただき、また怪我もなく、無事に終了することができました。今後もスラックラインというスポーツとパークの利用を通じて、川のある生活と自然の大切さに親しみ、水辺の環境を守っていける活動を継続していきたいと思ひます。